

平成30年9月第4回松阪市議会定例会

請願文書表


受理番号	請願第6号
受理年月日	平成30年10月2日
件名	議会として、松阪市に対し、蒸気機関車「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨んでいただくこと等を求める請願書
請願者の住所及び氏名	松阪市新座町1066番地 中北表具本店内 保存活動グループ「くーべる」 代表 杉山 牧夫 (東京都世田谷区松原4丁目3番15号) 松阪市桜町16番地8 会員 中北 佳宏 松阪市泉町1710番地3 会員 辻田 隆幸 松阪市日丘町1377番地101 会員 藤島 春好 伊勢市小俣町元町171番地 会員 江本 紀明
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	海住 恒幸

提出日 平成30年10月 2日

請願

件名 議会として、松阪市に対し、蒸気機関車「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨んでいただくこと等を求める請願書

松阪市議会議長 中島清晴様

紹介議員 海住恒幸 


請願者の住所及び氏名

松阪市新座町1066番地 中北表具本店内


保存活動グループ「くーべる」

代表 杉山牧夫 (東京都世田谷区松原4丁目3番15号) 


松阪市桜町16番地8

会員 中北佳宏 


松阪市泉町1710番地3

会員 辻田隆幸 

松阪市日丘町1377番地101

会員 藤島春好 

伊勢市小俣町元町171番地

会員 江本紀明 



請願の趣旨

中部台運動公園第二駐車場で保存公開されている蒸気機関車「くろすけ」の車体を錆びつかせて傷ませることなく、松阪市として適切に管理していくために必要な財源を確保するとともに、保存管理していくのに可能な限り適切な方法を見つけだす検討に入ることを求めるものです。そのためには、現在の保管・展示施設の現状や安全性、屋根の復元の可否についても調査が必要であると考えます。

請願の理由

私たち、請願者は、塗装や金属加工、工芸などさまざまな専門的な職人技能を生かしながら、この10年間、私財を投じながら蒸気機関車「くろすけ」の維持管理にあたってきた「保存活動グループ『くーべる』」です。

本請願は、「議案第102号 平成30年度松阪市一般会計補正予算（第3号）」の（款）11 災害復旧費・（項）4 文教施設災害復旧費・（目）1 保健体育施設災害復旧費に盛られている中部台運動公園施設災害復旧事業費に対するものです。

ここでいう中部台運動公園施設とは、中部台運動公園第二駐車場で保存公開されている蒸気機関車（SL）「くろすけ」の展示施設を指します。

同施設は、今年7月と8月に相次いだ台風12号と同20号によって屋根が完全に吹き飛ばされてしまい、展示公開施設の鉄骨の柱や枠だけ残る状態になりました。長年にわたり、ボランティアで機関車「くろすけ」の維持・修繕などの整備を続けてきた私たちは、近いうちに、建物の復旧が行われるものと信じていました。ところが、松阪市の決定は、「復旧費」とはいうものの、被災前の状態に戻す「復旧」ではなく、辛うじて残った柱や枠等をすべて解体し、機関車「くろすけ」を露天にさらしてしまうものですので、そのあとの処理が大変心配です。

9月28日付夕刊三重には、「SLくろすけ保存に最良の方法考えて」という投書は掲載されており、その文中に「屋根があってもすぐさびが出て（ボランティアは）苦勞しておられるのに、屋根がなかったらどうなるでしょう。運転席の窓枠は木製です。露天になればまた朽ちてしまうでしょう」とありました。それはまさしく私たちの思いです。屋根など車体を覆うものがまったくなくなった状態の中では、ボランティアの作業では車体が朽ち果てていく速度には及びません。これまでは屋根があったから、傷んでいく速度をなんとか止めてい

たのが実際です。露天となった展示公開では「くろすけ」は朽ち果てます。

平成20年6月に撮影された写真を添付しますのでご覧ください。

この写真は、平成3年2月に松坂城跡公園から屋根付きの中部台運動公園に移設されたものの、適切な管理が行われなかったために、車体は茶色く錆びつき、運転席の扉や窓なども朽ち果てていた「くろすけ」の姿です。屋根があっても適切な整備がなければこのような姿になってしまいました。

教育委員会は県内の類似施設でも屋根はないと説明されていますが、屋根がないのは津市だけで、他ではすべて屋根があります。屋根を撤去するのなら、腐食防止対策にしっかりと経費をかけていただく必要があります。

台風20号による被害が出たあと、急場しのぎ的にあまりにも早く屋根の撤去を決められており、機関車「くろすけ」の保存、展示のあり方について調査・研究をなされたとは考えられません。

「屋根を復元してもまた飛ばされてしまう」と述べられている旨の報道もありましたが、屋根が無いことで朽ちた機関車の撤去費用がそう遠くない将来に発生することとなります。そうなれば、施設の解体と、将来、朽ちた機関車「くろすけ」の撤去費用の二重の負担になります。そのようなことにならないよう対策が求められます。

最後に、機関車「くろすけ」のことに触れておきます。「くろすけ」は、今から約80年前の昭和14年（1939年）に製造されたC58型51号です。昭和46年（1971年）9月を最後に、国鉄亀山機関区（当時）で引退したあと廃車となり、松阪市が譲り受けました。「くろすけ」が松阪に来ることになったのは、市立幸小学校6年の鉄道好きの少年だった現「くーべる」代表の杉山牧夫（現在、東京在住）が、「引退したSLを松阪に呼んで欲しい」と当時の吉田逸郎市長に手紙を書いたことに応じていただいたことによるものでした。

「くろすけ」という愛称は市民公募で決定しました。

その後、平成3年2月2日に、松坂城跡公園敷地から中部台運動公園の現在地に移設されましたが、必要な手入れがなされなかったために、鉄が赤茶けとなってボロボロに錆びたうえ、盗難や破損等で運転室の窓や警笛、計器類などは消失している状態でした。

松阪市は、平成21年4月、約180万円をかけて塗装はしました。しかし、現役当時の姿とはまったく異なる“お召し列車”のデザインになっていました。それを見た杉山は、『くろすけ』を現役当時の姿に戻したい」と、毎週末に東京から松阪に戻り、修復作業を始めました。それに共感する仲間があらわれ、保存活動グループ「くーべる」が出来上がりました。「くーべる」は、メンバーそれぞれの休日等を利用し修繕にあたるるとともに、自分たちが収集していた部品や代用品を取り付けるとともに、金属類を加工、塗装するなど、可能な限

り復元してきました。そのかいあって、中部台運動公園で子ども向けのイベントが開催される時や、親子で汽笛を鳴らす機会を設けた折には長い列ができるなど喜ばれています。

そのような「くろすけ」ですので、議員の皆さまにおかれましては、私たちの説明に耳を傾けていただき、是非、本請願をご採択いただきたくようお願い申し上げます。

請願項目

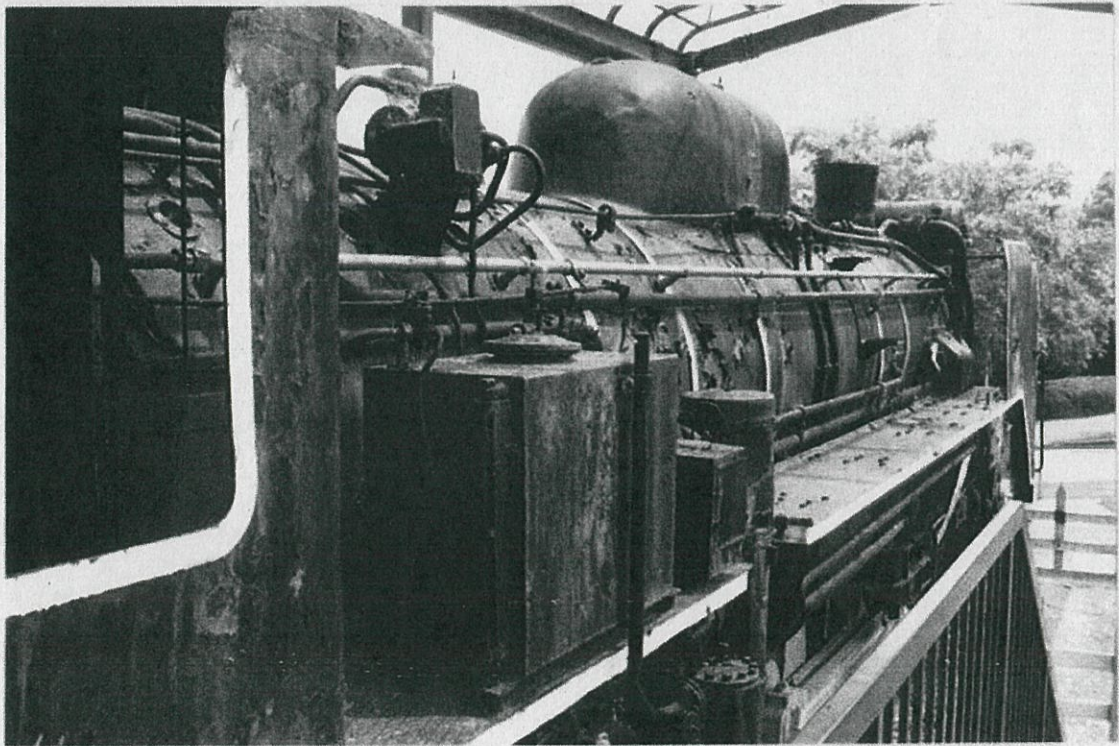
- (1) 「議案第102号 平成30年度松阪市一般会計補正予算(第3号)内の(款)11災害復旧費・(項)4文教施設災害復旧費・(目)1保健体育施設災害復旧費」中の「中部台運動公園施設災害復旧事業費」の可否にかかわらず、蒸気機関車「くろすけ」保管施設の残存躯体の現状および安全性、屋根の復元可否について調査していただくことを求める。
- (2) 議会として、松阪市に対し、蒸気機関車「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨むよう求めていただくことを求める。

以上

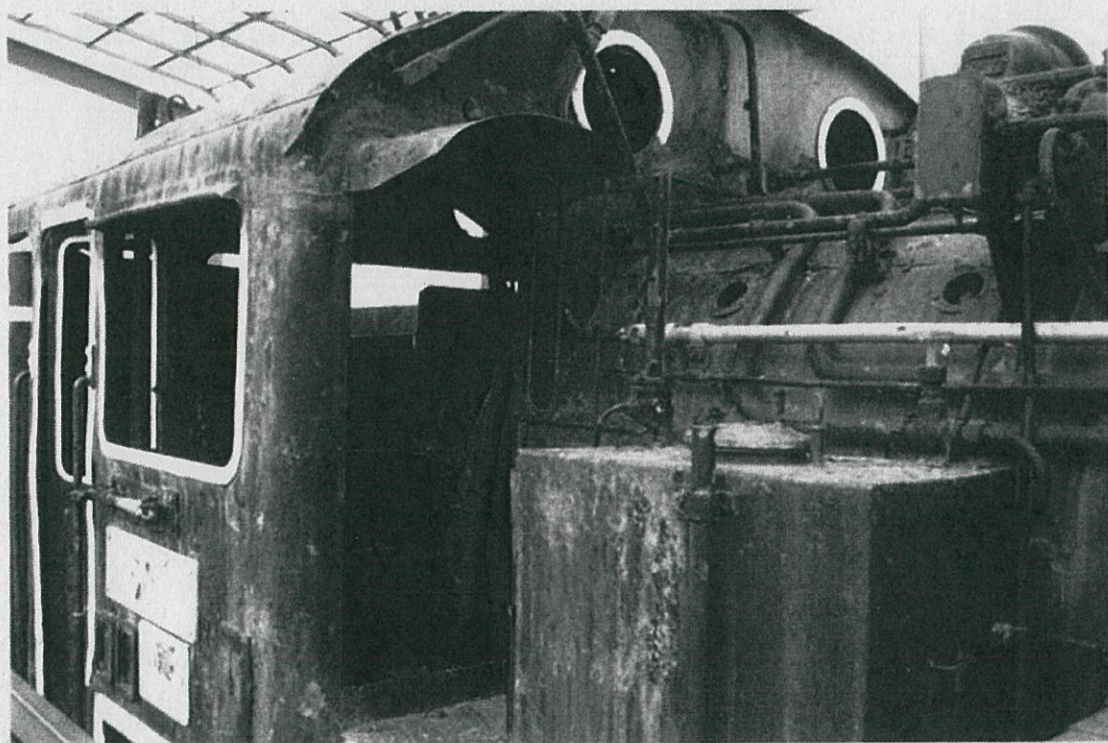
平成20年6月撮影



平成20年6月撮影



平成20年6月撮影



平成3年2月 中部台運動公園への移設

